

第42号



木曾川町連区



地域づくり協議会だより

【発行日】令和2年1月1日 【発行者】木曾川町連区地域づくり協議会
〒木曾川町内割田一の通り27(一宮市木曾川庁舎内) ☎84-0005
【メールアドレス】k-chiiki@orihime.ne.jp
【ホームページ】http://138kisogawa.org 木曾川町連区で検索してね♪



↑
こちらからどうぞ

新年のご挨拶

木曾川町連区地域づくり協議会
会長 日比野 洋一



新年あけましておめでとうございます。
皆様には、令和になって最初の正月を心新たな思いでお迎えのことと思います。

“安全・安心で思いやりあふれる町づくり”を目指して発足した地域づくり協議会も6年が経過しました。昨年は、市の特別交付金を活用した事業を重点に取り組んできました。その活動の様子をホームページや地域づくり協議会だよりで発信してきましたが、各種の事業やイベントには多くの人に参加していただき、つながりの輪を拡げることができました。

防災の備えとして、町内の3小学校と中学校に設置した防災倉庫には非常時用の備蓄品を整備するとともに、避難所運営マニュアルの作成を進めました。防犯カメラを町内の主要道路の交差点3か所に設置し防犯対策の一助としました。また、「ふるさと今昔」や「きそがわつながりマップ」を作成し、全戸に配布することができました。編集、作成に関わっていただいた多くの関係者のご努力に感謝すると共に、住民の皆様に活用され、少しでもお役に立てれば幸いです。

高齢化が進み認知症は身近な問題であるという現状を踏まえ、認知症徘徊模擬訓練「声かけお助け隊」体験を実施しました。市内で初めての試みであり、準備から当日の運営と多くのスタッフの協力を得て実行されました。約100名の参加者、見学者にとって貴重な体験の機会になりました。声かけや見守り活動を充実させることは、思いやりのあるまちづくりにつながる一歩だと思います。

さらに、木曾川緑地公園で開かれた第2回「雀のお宿・野外音楽祭」は、秋晴れの下、様々なジャンルの音楽を出演者と聴衆が一体となり楽しむことができました。当日は、市長さんを始め約750名の来場者があり、前年以上の盛り上がりでした。木曾川河畔の豊かな自然の中で、世代を超えた交流の場としてこれからも続けられたらと願っています。

本年も連区町会長協議会や関係諸団体との連携を大切にしながら、地域全体の絆づくりを強め、互いに助け合うことができ、安心して生活できる木曾川町連区を目指したいと考えています。皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

文化祭&芸能祭が開催されました

木曾川公民館

好天に恵まれた11月2日・3日、第52回木曾川町文化祭が木曾川庁舎2階公民館で開催されました。文化部に所属されている方々そうでない方々の、1年間の力作を皆さんに見ていただこうと、展示の仕方にも熱が入っていました。特に「きそがわ幼稚園」園児の一生懸命さの伝わる作品は、一枚一枚に思いが込められ感動しました。親御さんに手を引かれ、自分の作品の前では照れる姿も微笑ましいと思いました。会場では、元ご近所同志であった方々であったり・同級生であったり・同僚であったりと多くの人との出会いが見られ、会話もはずんで和やかな雰囲気でした。木曾川町連区地域づくり協議会の「ふるさと今昔」のコーナーでは、今昔の変革をパネルにして展示。食い入るように顔をくっつけ見入る姿もあり、“なつかしいな〜”の声が上がり、見知らぬ人同志の昔話に花が咲くこともありました。特別企画として出展の「ぞうれっしゃが走って70周年」10場面は、山口昭雄さんのイラスト画と、ミュージカル当日の写真に多くの方がひきつけられ、長時間見入っていただきました。鑑賞に訪れて下さった多くの方々に感謝し、今後の作品製作に意欲を燃やし力を入れていきたいと思いました。皆さんありがとうございました。



第52回木曾川町芸能祭が、天皇陛下即位パレードが行われた11月10日(日)に木曾川文化会館(尾西信金ホール)で開催されました。当日は昨年同様25団体の皆さんにより9時半から16時半まで、多彩な芸能を熱演していただきました。毎年1つずつ年を重ね、大部分のクラブの皆さんはかなりの高齢になられてきましたが、華やかな衣装を着た軽快な演技は全く年を感じさせませんでした。また、素晴らしい秋晴れにも恵まれ、大勢の方にご来場いただきました。そして演技が終わるたびに大きな拍手をしていただき、会場全体を大いに盛り上げていただきました。これからも出演者・見学者の方々が待ち遠しいと思えるような芸能祭にしてゆきたいと願っていますので、皆様のご協力をお願いいたします。



体験したよ!! 「声かけお助け隊」

11月23日(土)午前中、木曾川西小校下にお住まいの40名による体験参加のみなさまと、スタッフ・来賓・一般参加者を含めて100名を越える参加者による「声かけお助け隊」体験活動は有意義に終えることができました。

「一人での声かけはとても無理、グループでよかった」「チンプンカンプン、話が聞き出せなくてショック」「シルバーカーの中に住所メモを見つけて思わず笑顔」声かけ体験をされた皆さまの声です。

認知症役の演技がとても上手くて、そっぽを向かれたり文句を言われたり、歩き出すのでついて行くなどと、声かけの難しさを体験できたようです。

報告会では、認知症役の方から「正面から、ゆっくりと、優しく、こんにちは♪とか、大丈夫ですか?などと話しかけると良い」「名前や住所をたずねてみる」「服や靴、バックなどに連絡先が書いてあることがある」などのアドバイスを受けました。また、皆さんがとても上手に声かけされてすばらしかったとほめられました。

この体験を活かし、「声かけお助け隊」の一員として、困っている方や心配な方を見かけましたら、ぜひ声かけをしていただき、地域全体で見守り活動をしていこうという機運が盛り上がっていくことを願っています。



防犯カメラで空き巣対策を!!

空き巣被害全国ワースト1の愛知県で、県下ワースト1は**一宮市**です。
つまり、私たちは日本一の空き巣被害の多い町に住んでいるのです!!

より安全で安心なまちづくりのため、地域づくり協議会では提案事業の一貫として、防犯カメラを木曾川町内へ進入する主要な道路に設置します。本年度は3台が設置され、10月から作動しています。

一宮市では、町内会が防犯カメラを設置する場合、凡そ半額が補助されます。
木曾川町の中でも、玉ノ井地区では多くの町内が防犯カメラを設置して、空き巣被害が激減し犯罪抑止にも貢献しています。



これを機会に、各町内に防犯カメラの設置を促進して空き巣被害日本一の汚名を返上するとともに、住民の皆さんの防犯意識の向上を図ります。

「災害時たすけあい隊」について

一宮市社会福祉協議会
木曾川町支会

台風などで発生しました洪水被害の状況を見ていて、木曾川が氾濫した時にはどうなるのだろうかと不安になった方もみえるのではありませんか。

「災害時たすけあい隊」は、災害時にひとりで避難することが困難な方を地域で手助けする助け合いの制度です。対象者の条件に該当する方が、地域で見守ってくれる人に支援を依頼し、その方の承諾を得て市に登録申請をします。木曾川町連区では160人位が登録しています。

10月下旬から11月上旬の間に、町会長や民生委員の皆さんに登録している方のお宅を訪問していただき、登録してある内容を確認し、健康状態などを聞き取りました。災害はいつ起きるかわかりません。災害が起きた時に急に助け合いができるようになることは考えられません。日常からの地域の皆さんのつながりや助け合いを大切にしていきたいと考え、これからもこうした取り組みを進めていきます。



「災害時たすけあい隊」についてのお問い合わせは
市の福祉課（電話28-9015）にお願いします。